

ホールの設計・施工に向けた7つの視点(基本方針)

7つの視点	基本方針
①文化施設のあり方	<ul style="list-style-type: none">・ 基本目標、施設の使命である「4つのミッション」を達成するにふさわしいコンセプトを求める。・ 「4大モチーフ」をはじめ徳島の誇る文化を最大限楽しむことができ、国内外へ発信できる施設の提案を求める。
②まちづくり	<ul style="list-style-type: none">・ 眉山、新町川、徳島城等の地理的・歴史的な文脈を踏まえた「ランドスケープ提案」を求める。・ 徳島駅前、新町等の市街地との連動による、まちづくりの核となる施設の提案を求める。
③施設計画	<ul style="list-style-type: none">・ 大ホール棟、小ホール棟、コモン棟という3棟を適切に連携させるため、観客、スタッフなどの属性に応じた適切な動線計画の提案を求める。・ 年齢・性別・国籍・価値観といった多様性「ダイバーシティ」に対応し、来館者の誰もが、文化芸術を通じて、相互理解し合える「場」の象徴となるような計画・意匠の提案を求める。・ 徳島中央公園等からの眺望を活かし、建物の外壁面を文化芸術の発信ツールとして活用するなど、ホールそのものが文化創造・発信の拠点、「県都のランドマーク」となりうる先進的な提案を求める。
④劇場計画	<ul style="list-style-type: none">・ 良質な文化芸術の体験が可能な舞台空間の提案や、徳島が世界に誇るLED技術を用いた映像・照明設備を、効果的な演出装置として活用できる「徳島ならではの」提案を求める。
⑤未来社会への配慮	<ul style="list-style-type: none">・ 自然エネルギーの導入等によるSDGsの達成、地震・津波をはじめとする災害への対策、感染症に対応した新しい生活様式など、次の世代につながる「未来志向による社会への配慮」を求める。
⑥施工計画	<ul style="list-style-type: none">・ 品質・工程ともに確実性が高く、かつ斬新な計画(適切な遮音対策、埋蔵文化財の保全・活用等)による「チャレンジ性に富んだ」提案を求める。
⑦コスト管理計画	<ul style="list-style-type: none">・ 建設費を適切かつ具体的に示しつつ、地盤改良やメンテナンス、予防保全等に関する「斬新かつ大胆なコスト縮減」の提案を求める。